



## 夏の読書におすすめ！『カメリ』『かめくん』でお馴染み 北野勇作の新刊『かめたいむ』がネコノスより発売！

この夏、100文字の魔法に触れてみませんか？ シリーズ百字劇場で広がる新感覚の読書体験、必読の2冊が登場！



シリーズ百字劇場

### 話題沸騰！北野勇作の最新作が登場

現代SF文学の先鋭、北野勇作がライフワークとして手がける『シリーズ百字劇場』の新刊が、ネコノス社より2024年8月下旬に発売されます。

### この夏、話題必至の新刊

今回発売されるシリーズ百字劇場・第4弾『かめたいむ』と第5弾『交差点の天使』は、100文字という限られた文字数でありながら、無限の広がりを感じさせる物語が詰まった2冊。日常の一瞬から世界のうねりを生み出す北野氏の手腕は、読書界でも大きな話題を呼んでいます。

短い中にも深い感動と独創的な世界観を持ち、老若男女を問わず楽しめる「シリーズ百字劇場」。北野勇作の新作がもたらす新しい読書体験を、ぜひお楽しみください。



『かめたいむ』書影（帯あり）

## 『かめたいむ』 亀と人が紡ぎ出す世界の不思議

『かめたいむ』では、北野さんが飼っている亀から生まれたユニークな物語が展開されます。100文字で描かれる物語は、詩のような美しさと深みを持ち、日常に隠れた奇跡を思い出させてくれます。物干し台から広がる亀の世界を通して、新たな視点を体験してください。

解説：長嶋有氏 / 装画：和田ラチヲ氏

ISBN 978-4-910710-13-6

文庫判 208ページ

定価 1,100円+税



『交差点の天使』書影（帯あり）

## 『交差点の天使』 日常にこっそり潜む天使たちの物語

『交差点の天使』は、天使をテーマにした100文字のショートショート作品をまとめています。日常に溶け込んだ不思議な存在である天使たちの存在。私たちはその存在に気づこうとすれば気づけるはず。そんな存在に思いを馳せてみませんか。

解説：サリngROCK氏 / 装画：和田ラチヲ氏

ISBN 978-4-910710-14-3

文庫判 208ページ

定価 1,100円+税

## 家族で楽しむ新しい読書体験——小中学生にもおすすめ

『シリーズ百字劇場』は、小中学生でも楽しめる優しい文章で構成されています。100文字あれば、すてきな世界も、奇妙な宇宙もつくりだすことのできるショートショートの奥深さ。子どもが初めて体験する「小説」としてもうってつけです。小学校の朝の読書や家庭での読み聞かせにも最適。過去3作は、小学校での読書会や創作練習の教材としても利用されるなど、まさに、親子で一緒に楽しめるシリーズになっています。わずか100文字で構築される世界をぜひお楽しみください。

シリーズ百字劇場（文庫版 各208ページ 定価1,100円+税）

第1弾『ありふれた金庫』 ISBN 978-4-910710-08-2

第2弾『納戸のスナイパー』 ISBN 978-4-910710-09-9

第3弾 『ねこラジオ』	ISBN 978-4-910710-10-5
第4弾 『かめたいむ』	ISBN 978-4-910710-13-6
第5弾 『交差点の天使』	ISBN 978-4-910710-14-3

## 著者紹介：現代SFの先鋭

北野勇作（キタノ ユウサク）

1962年、兵庫県生まれ。

1992年、デビュー作『昔、火星のあった場所』で第4回日本ファンタジーノベル大賞優秀賞、『天動説』で第1回桂雀三郎新作落語〈やぐら杯〉最優秀賞を受賞。2001年には『かめくん』で第22回日本SF大賞を受賞。『どーなつ』『北野勇作どうぶつ図鑑』『どろんころんど』『きつねのつき』『カメラ』『レイコちゃんと蒲鉾工場』『クラゲの海に浮かぶ舟』『ちょっとこわいメモ』ほか著書多数。ライフワークとも言える【ほぼ百字小説】は、Twitterで毎日発表され続けており、その数は5000を超えています。現代SF文学界で独自のポジションに立ち、現実と幻想が交錯する独自の世界観で読者を魅了し続けている先鋭です。

X（旧Twitter）の書籍紹介アカウント「ドクショと！」によるアンケート「河出文庫人気ランキング」では3作が上位に入るなど（「カメラ」：1位、「かめくん」：4位、「きつねのつき」：7位）多くの読者に根強く支持されています。

<https://x.com/kusatu9/status/1821759056450850877>



『かめたいむ』書影



ISBN978-4-910710-13-6

C0193 ¥1100E

定価 本体1100円 (税別)

北野勇作によるマイクロノベル「シリーズ百字劇場」第四弾には亀が大集合。亀は亀として生物の時間を歩みながら、ときに人の時間を横切り、ときに世界の流れを止め、気がつけば私たちが映す鏡になっている、のかも。

飛行機雲のまっすぐさのために飛行機がある。夏の暑さを熱の流れと思う。ヨベルニクスの転回という言葉があるが、このシリーズの100字内でしばしばみられる転回は独自に「キタノ的」と呼びたくなる簡潔さ、心地よさがある。その心地よさは、たとえば亀をたゆまず飽かずにみていられる、感じてもらえる北野さんだけの胆力で生み出されているのだ。

(解説より)

『かめたいむ』表4 書籍紹介文も100字



『交差点の天使』書影



ISBN978-4-910710-14-3

C0193 ¥1100E

定価 本体1100円 (税別)

たった百文字で描かれる小さな物語は、やがて重なりあい、響き合い、大きな世界のうねりを創り始める。マイクロノベルの能手・北野勇作による「シリーズ百字劇場」。第五弾は、天使たちによる静かで不思議な供宴を。

「不思議」は日常と一緒にある。私は、そうだったらいなあと思いつながら生きている。北野さんは、いいなあとかじゃなく、「そう」でしょ。って言ってるのける。その力強さに心を揺さぶられて、北野さんの百字を読んでいると、たまに泣いてしまう。(中略)

不思議は、きつと、いろんなところに現れる。でも多分、どこにでも現れるわけじゃない。多分不思議は、不思議を見つかるその人が、その不思議を納得できるところに現れる。

(解説より)

『交差点の天使』表4 書籍紹介文も100字

---

ネコノス合同会社のプレスリリース一覧

[https://prt看mes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/67184](https://prt看mes.jp/main/html/searchrlp/company_id/67184)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

ネコノス合同会社 担当：浅生

電話：03-6804-6001

FAX：03-6800-2150

メールアドレス：info@neconos.net

北野勇作氏へのインタビューなどもお待ちしております。

よろしくお願いいたします。